

ひまわり交流

宮城県大崎市と港南区は、子どもたちをはじめとした地域の皆さんの「ふるさと意識の醸成」や、地域の活性化、青少年の健全育成を目的として、相互交流「ひまわり交流」を行っています。

交流の始まり

宮城県大崎市(旧三本木町)が、転作によるひまわり栽培を開始して、昭和62年に“ひまわりの丘”での本格栽培が始まりました。このひまわりの丘を訪れた横浜市民が旧三本木町職員に港南区の花がひまわりであることを伝えたことから、ひまわりを介した交流が始まりました。

平成元年に港南区で友好会議を開催、春には旧三本木町での春祭りを訪問、その後、大崎市が横浜博覧会(港南区民デー)にミニひまわり200鉢を持参するなど相互訪問が行われました。さらに港南区児童が三本木でのホームステイを経験、翌年は三本木小学校児童が港南区でホームステイを体験するなどして交流を深めました。その後一旦は各種団体の大人の交流を行ってききましたが、平成18年に旧三本木町が「大崎市」となった事で、「ひまわり生活体験交流」として小学生を対象とした交流が復活し、現在も続いています。

港南区・大崎市
ひまわり交流



交流内容

- 毎年大崎市から贈られるひまわりの種を区民や保育園・小学校に配布
- 2泊3日の宿泊体験を通してお互いの地域の魅力を体験
- 「こうなん子どもゆめワールド」に出店
- 丸山大ホコテンに物産品を出店

区の花ひまわりの普及



上大岡コミュニティハウスで咲いたひまわり

ひまわり生活体験交流



大崎市のひまわりの丘での集合写真

大崎市の観光PR



丸山大ホコテンの様子

ひまわり生活体験交流にスタッフとして参加された主任児童委員のお話を聞きました!



令和6年、大崎市20名、港南区19名の子どもたちが参加しました。

最初の観光場所はランドマークタワー!展望台からの眺めに目を輝かせる大崎市の子どもたちが印象的でした。夜の班会議では次の日の行動ルートを決めました。班長を中心にそれぞれの意見を出し合います。大人スタッフも助言します。シーパラでは子どもたちと一緒に数十年振りの絶叫系コースターに乗車!子どもたちは

(私たちも)すぐに仲良くなり、時にはふざけすぎたりと目を離せないこともありましたが、たくさんの思い出を作ることができました。

別れを惜しみながら、また来年会えたらいいね!あっという間の2泊3日でした。



編集後記

任期最後の広報をお届けします。大崎市との「ひまわり交流」を特集しました。

来期、広報紙編集部会が人数も内容も更に充実するよう願っております。



広報紙編集部会

(部会長)笠原 博明 福田 八千代 片伯部 富吉澤 久子 中村 照美



港南区民生委員児童委員協議会

民児協 こうなん

第55号 2025年12月1日

2面・3面

●ひまわり☆きらり(各地区活動紹介)

4面

●ひまわり交流
●編集後記

一斉改選が行われました

一斉改選になりました

委嘱状伝達式 令和7年12月1日(月) 港南公会堂

●民生委員・児童委員 246名(うち主任児童委員 24名)

厚生労働大臣と横浜市長から委嘱を受け、栗原港南区長より伝達が行われました。任期は3年、地域の方の立場に立って、関係機関と連携しながら活動してまいります。



港南区民生委員児童委員協議会のあゆみ

民生委員制度は、大正6年(1917年)に始まった岡山県の「済世顧問制度」設置から、今年で108年になります。港南区民生委員児童委員協議会は昭和44年(1969年)に発足しました。

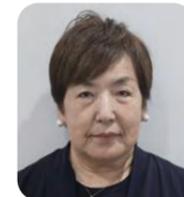
- 昭和44年
 - ▼港南、笹下、日野、永野地区 4地区 31名
- 昭和52年
 - ▼下永谷地区 5地区 124名
- 昭和53年
 - ▼日下、日野第一地区 7地区 130名
- 昭和54年
 - ▼港南台地区 8地区 146名
- 昭和56年
 - ▼野庭団地地区 9地区 154名
- 昭和60年
 - ▼永谷、芹が谷地区 11地区 182名
- 昭和62年
 - ▼野庭住宅地区 12地区 195名
- 平成2年
 - ▼ひざり地区 13地区 209名
- 平成6年
 - ▼港南地区を分割し、上大岡、大久保最戸地区 14地区 243名
- 平成13年
 - ▼日野南地区 15地区 275名
- 令和7年 15地区 定数291名



横浜市版民生委員・児童委員キャラクター「よこはまミンジー」

笑顔あふれる地域を目指して

港南区民生委員児童委員協議会
会長 柿沼 恵子



令和7年12月の一斉改選を経て、新しい仲間を迎え、港南区民児協は新たなスタートを切ります。地域の皆様に耳を傾け、15地区の委員の皆様や地域ケアプラザ、行政と連携を深めながら、地域支援の充実を目指してまいります。

笑顔あふれる地域づくりに向け、民生委員の皆様のご協力、そして地域の皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

自由に活動できるありがたさに感謝

港南区民生委員児童委員協議会
前会長 黒川 暁博



新型コロナによる制限が解除され、自由に活動できるありがたさを身にしみて感じる3年間でした。担い手確保が難しく、働いている委員も多くなり、委員の高齢化も進む中、負担軽減策が検討され、一部採用されましたが、継続課題として残っています。福祉ニーズが複雑多様化する中で、まだまだ課題は多くありますが、新しい時代に合った活動が進むよう願っています。

ひまわり☆きらり ～各地区の活動紹介～

「地域・人とのつながり」を大切に！

ひざり地区

ひざり地区民児協は1990年(平成2年)に発足し、委員11名が「地域・人とのつながり」を大切に活動しています。

1 定例会 毎月第3木曜日に開催、5月は総会です。8月は休会ですが、1月は地区社協と交流会を開催しています。

2 地域ささえあい訪問だより 1996年から発行し、毎月、民生委員・児童委員が担当区域の一人暮らし高齢者や災害時要援護者など約500の家庭を訪問し、「お変わりありませんか?」と見守り活動をしています。

3 ほっとみるく 毎月第2月曜日に主任児童委員が企画・運営している子育てサロンです。0歳から小学校入学前の保護者と子どもが参加しています。

4 地域・関係機関と連携 連合自治会・各自治会・地区社協・地域ケアプラザなどと連携した活動(納涼祭・防災訓練・ふれあいコンサートなど)をしています。「ささえあい訪問だより」「ほっとみるく」は自治会などのHPIに掲載されています。



▲地域ささえあい訪問だより



▲ほっとみるく

富士山が見えるよ！

日野南地区

私たちの日野南地区は、栄区と接する港南区の西南に位置しています。昭和40年代後半に開発され、天気の良い日には富士の霊峰を望めるのが自慢です。私たちはこの地を10名の委員で活動しています。

活動としては「わかばの会」という名前で、年2回春は芸能大会、秋の集いを70歳以上の方を対象としたイベントとして行っています。芸能大会では民謡おどり・詩吟・ギターとケーナの演奏・歌など、日頃からの練習の成果を披露されています。ご夫婦での出演もあり、とてもほのぼのとした雰囲気の中、最後は皆さまと歌を歌いひとつとなりました。秋の集いは、コロナ禍で飲食ができず、ゲームや笑いの先生をお招きして開催していましたが、今年は食事会を計画しています。

また、社会福祉協議会と連携して集いの場のお手伝いをしています。自宅を開放してくださる方や自治会館・コミュニティカフェ・公園と場所はさまざまですが、各集いの場に伺い、一緒にお話を聞き、必要に応じてケアプラザ等適切な施設につながるよう活動しています。12月には一人暮らしの方にクリスマスプレゼントをお渡しし「いつもプレゼントあげるばかりで久しぶりに頂いてうれしい!」と喜びの声を聴くことができました。

港南区の中で一番小さな地区なので、小さいからこそできることを大切にして活動していきたいと思っています。



▲防災センターでの研修

老若男女ワンチーム

下永谷地区

下永谷地区は、山坂の多い丘陵地で、真ん中に環状2号線が通って二分化された住宅地です。老若男女ワンチームは、下永谷ケアプラザを中心に委員18人で活動しています。

定例会は、第3土曜日にケアプラザで開催し、出席出来ない方はリモート参加、包括の方にも参加して頂きます。情報交換、時には介護制度の講座もあります。

年1回、ケアプラザで食事会を行います。歩いてこれない方には、デイサービスの車を利用できるので喜ばれています。高齢者支援として、地区社協主催の敬老慰安会(9月)、チャリティ芸能大会(11月)のお手伝い、また子育て支援は、毎月「わいわいサロン」「公園あそび」を、春分の日には、親子で参加できる「春の縁日」を開催しています。

学校関係では、視覚障害者の通学支援、学校給食ボランティア等も行っています。これからも、老若男女ワンチームでこの地域を支えたいと思います。



▲お楽しみ食事会



▲敬老慰安会

地域と共に楽しく活動

永谷地区

永谷地区民児協は、地域のスローガン「なが〜く住みたい永谷」を目指して地域と協力しあい、活動しています。

ひとり暮らし高齢者の食事会(手づくりお弁当、パステルさんのお弁当等)、秋にはお芋ほり(お芋を収穫し、お持ち帰りが嬉しい)、手づくりおにぎり弁当、おいしいお芋汁で楽しいランチ。そして、地域の方々、子ども、障害者、高齢者全ての方が参加できるコンサートも、生演奏に心ウキウキです。

OB民生委員さんの助っ人も心強いことです。他に、安否確認をかねた、防災グッズの点検補充も行っています。横浜市民防災センター見学では、災害に対する危機管理の意識も高まりました。

今後も、永谷地区民児協一致団結して、活動していきます。



▲永谷地区民児協一同



▲お芋ほり

地域とのつながりを大切に！

芹が谷地区

芹が谷地区の民生委員・児童委員は11名で活動しています。

6月の食事会の開催では、芹が谷地域ケアプラザとヒューマンライフの協力で送迎をして頂いています。9月の敬老のお祝い品、12月の年末見舞い品、3月の雛あられ配布等「いつも貰ってばかりで悪いわネ」と話題も弾んでいます。月に1度の子育てサロンも年々参加人数が増えて活動にも力が入っています。

毎年行っている地区の障害者施設の交流では、昨年は「瓢箪ランプ」の作成を講師としてお願いをしました。

今後の活動は、防災知識の習得や情報共有、支援を地域の方々と連携を深めていきたいと考えています。



▲食事会



▲瓢箪ランプ